

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第3次）」の 令和6年度年次報告の作成方針

地震火山観測研究計画部会では、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第3次）」の進捗状況を把握するとともに、研究成果を取りまとめて研究者及び社会に還元するため、同計画に係る研究成果を取りまとめた年次報告を作成する。同部会は、年次報告の作成にあたり、各実施機関に実施計画（個別課題）に基づく成果等の報告を依頼し、それらを取りまとめて年次報告【機関別】及び年次報告【成果の概要】を作成することとしている。

令和6年度年次報告の作成方針は、以下の通り。

1. 基本的な考え方

- ・「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第3次）」に沿って創出された具体的な成果について、「6つの項目」^{※1}及び「重点的に取り組む研究」の目的の達成にどのように貢献するのかが分かりやすいように取りまとめる。
- ・【成果の概要】は、一般の方でも読みやすいように、「6つの項目」に対応させる形で成果を簡潔に取りまとめる。

※1 「6つの項目」とは、1. 地震・火山現象の解明のための研究、2. 地震・火山噴火の予測のための研究、3. 地震・火山噴火の災害要因予測のための研究、4. 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究、5. 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究、6. 観測基盤と研究推進体制の整備 を指す。

2. 年次報告【機関別】の作成方針

（1）課題別成果の報告様式

- ・ 例年と同様の様式を用いる。
- ・ 報告を求める内容：
 - 令和6年度の成果の概要
 - ・ 令和6年度の成果の概要

※研究背景として、前計画「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」における成果についても、可能であれば記述する

※「関連の深い建議の項目」（該当する場合は、「その他関連する建議の項目」及び関連する「総合的研究」）の目的の達成にどのように貢献するのかを明記する

※「災害の軽減に貢献する」という目標に対する当該研究成果の位置づけと今後の展望について、可能であれば記述する

○令和6年度の成果に関連の深いもので、令和6年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）

○令和6年度に実施した調査・観測や開発したソフトウェア等のメタ情報

（2）課題別成果の報告方法

- ・ オンライン入力システムを用いる。

（3）取りまとめ方法

- ・ 各機関が作成した機関別報告案を地震火山観測研究計画部会において取りまとめる。

3. 年次報告【成果の概要】の作成方針

(1) 構成

【成果の概要】

- ・ はじめに
- ・ 令和6年度の成果の概要
顕著な地震・火山噴火(近年発生したもの、重要なターゲットとしているもの)に関して得られた重要な成果を報告するほか、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第3次)」の実施内容を項目別に取りまとめて報告。
- ・ まとめ
- ・ 用語解説
- ・ 実施機関、研究課題一覧

【参考資料】

- ・ 建議の概要
- ・ 項目別概要(地震・火山噴火予知研究協議会計画推進部会)

(2) 取りまとめ方法

- ・ 第13期の成果の概要取りまとめ委員を中心に地震・火山噴火予知研究協議会及び関係機関の協力を得て草稿を作成し、地震火山観測研究計画部会において取りまとめる。

4. 日程

令和6年

- 9月30日 地震火山観測研究計画部会(第58回)
・ 令和6年度年次報告の作成方針(案)について審議
- 12月下旬 オンライン入力システムの準備
・ 地震・火山噴火予知研究協議会に依頼

令和7年

- 1月上旬 各機関に課題別成果報告の作成依頼
- 2月中旬 課題別成果報告の締め切り
- 3月 令和6年度成果報告シンポジウム
- 3月～4月 令和6年度年次報告【機関別】の作成依頼
- 5月～6月 地震火山観測研究計画部会
・ 令和6年度年次報告【機関別】の取りまとめ
・ 地震火山観測研究計画部会の承認後、事務局でHP掲載
- 8月～9月 地震火山観測研究計画部会
・ 令和6年度年次報告【成果の概要】の取りまとめ
・ 地震火山観測研究計画部会の承認後、事務局でHP掲載及び印刷・配布